

☆中国

**繊維景況**

**産業用繊維品業界、成長維持——2014年1Q**

2014年第1四半期の中国の産業用繊維品業界は、売上、利益、投資など主要指標のいずれも成長を維持、収益も好転しており、輸出も伸びを維持している。

中国産業用繊維品協会によると、2014年第1四半期の企業景気指数は78.3と前年を上回っており、2014年の予想指数についても80.1と2013年を上回る見通しを明らかにした。

第1四半期の規模以上企業の売上高と利益総額はそれぞれ前年同期比13.0%増の579.6億元、17.8%増の30.9億元と依然と高成長を続けている。産業用繊維品業界の平均利益率は5.33%で、前年同期比0.4ポイント上回った。赤字企業の割合（欠損面）は15.35%、赤字額は2.2億元、前年同期比2.9%減少した。

**投資**

**世界最大の玄武岩生産基地を湖北省襄陽市に建設**

先日、世界最大の玄武岩繊維生産基地が湖北省襄陽市の高新区に建設されることが決まった。この計画は中国科学院が中心となり、工期は2期、そのうち一期工程では玄武岩繊維1,000トンの生産能力となる。

玄武岩繊維は玄武岩を原料とした繊維であり、その直径は髪の毛の3分の1で、強度は鋼材を上回り、耐腐性も合金より強く、1,000度の高温に耐えることができる繊維であるという。この玄武岩繊維では消防服、長江第二大橋の鉄のワイヤーの代替（200年間は補修不要）、宇宙服、建築、軍事などの分野で用いられている。専門家によると、玄武岩繊維世界の需要量は将来的には年間30～50万トンの見通しもある。現在世界では、ロシア、ウクライナ、米国、中国の少数の企業のみが玄武岩繊維を生産している。2012年の世界の生産は約5,000トンであるが、今回の湖北襄陽高新区生産基地で計画されている生産能力は4,000トンにも達する。襄陽市谷城県は豊富な玄武岩資源が埋蔵しているとされ、埋蔵量は200億 $m^3$ 、品質は良く、襄陽高新区から僅か50 $km$ と交通輸送の便も良いという。

## ☆欧 州

### 投 資

#### 自動車用バイオプラスチックの研究進む

このほど、スペインの技術研究所 Aimplas は、提携企業 12 社が自動車の内装に適したバイオプラスチック材料を開発したと発表した。同研究所によると、今回のプロジェクトの提携企業が、4 年間の研究の後、微生物の合成から得られたポリヒドロキシ酪酸（PHB）やでんぷん由来のポリ乳酸（PLA）を基盤とした部材開発に成功したという。

PHB 製部品は、天然繊維を使用したマットの補強として使用され、近日中にも導入される見込みであるという。一方、Aimplas はシルクプロテインをベースとしたポリマーの研究も進めており、自動車内装材以外の市場への用途開拓も進めているという。Aimplas は、スペインの経済競争力省の機関である Technological Institute of Plastics の頭字語（スペイン語）。

以上